

本校児童・生徒の実態

【学習面】

小学校

- 学校生活を楽しんでいる児童は多いが、楽しむ時間とやらなくてはならない時間の区別ができず、学習習慣の定着の面で課題がある。

中学校

- 授業に落ち着いて真面目に取り組める生徒が多くなっている。しかし、基礎的・基本的な知識・技能が十分に習得できていないため、学びの深さの面で課題がある。

【生活面】

小学校

- 基本的な生活習慣は身に付いている。他者とのコミュニケーション能力が低く、他者理解に課題があり、学校生活の中で継続的に指導する必要がある。

中学校

- 係活動など任せられた役割に真面目に取り組む生徒が多い。一方、自己マネジメント力や基本的な生活習慣を身に付けさせる継続的な指導が必要である。

【保健安全面】

小学校

- 運動が好きな児童が多く、休み時間などは外で元気に遊ぶ姿がある。メディアに対するモラル意識は低い。

中学校

- 体力向上や健康に対する意識は向上しているが、就寝時間をはじめ基本的な生活習慣の改善が必要であり、さらにメディアに対するモラル意識が低い。

富岡町教育委員会が目指す学校像 「コミュニティの拠点となる学校」

- 1 生きる力を育む学校教育
子どもの実態や成長に配慮、学び方を身に付ける、学校連携
- 2 人がつながる多世代教育
安全で開放的な学校、日常的な地域との接点、プロフェッショナル・イン・スクール
- 3 文化をつむぐ多世代教育、学校アーカイブ

- 福島県教育委員会
・学校教育指導の重点
・第7次福島県総合教育計画
- 相双教育事務所
・相双教育アピール
- 富岡町教育委員会理念
・個に応じた指導を中核とした「21世紀型能力」を育む学校教育の推進



教育目標

【富岡小】

- 1 進んで考える子
- 2 相手を思いやる子
- 3 ねばり強く取り組む子

【富岡中】

- 1 進んで学ぶ生徒
- 2 思いやりのある生徒
- 3 たくましく根気強い生徒

《共通指導目標》

- 夢を見つけ生き生きと活動する(小)
- 夢の実現に向け努力し着実に前進する(中)
- 学びの基盤を固めるための知識・技能の着実な習得
- 思考力・判断力・表現力等を育む多様な学びの場の創出
- 豊かな人間性や学びに向かう力を養う非認知能力の育成

学校経営方針

小学校

- 児童一人一人が安心して挑戦し、たくましく生き抜く力を育成する学校
- みんなで創る、この学校だからできる魅力ある学校

中学校

- 人間尊重の精神を基調として、知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな生徒を育成する学校
- 「魅力と活力にあふれ、信頼される学校づくり」を通して、将来を担う子どもを育成する学校
 - ① 安全の保障、学習の保障、人権の保障を尊重し、全ての教育活動に組織的に取り組む。
 - ② 生徒理解を深め、生徒の個性・能力の伸長と自立に向けた活動を支援する。
 - ③ 積極的に教職員の研修を深めるとともに、他校や他機関との連携や協力により教育効果を高める。

重点目標 よく聞き よく考え 伝え合おう 自分の思い

確かな学力

新たな課題の解決に挑戦しようとする態度を育て、社会で生き抜く確かな学力を身に付けさせる。

【努力・実践事項】

- ① 児童、生徒一人一人の実態に応じた学習指導を行う。
 - 児童、生徒の実態把握に基づいた個に応じた学習課題及びICTを活用した遠隔合同授業など多様な柔軟な学習形態の工夫
 - 各教科における、他との結びつきをふまえたコミュニケーション能力の育成(カリキュラムマネジメント)
 - ② 児童、生徒が主体的に課題を見つけ、自ら解決をめざす態度を育てる授業を実践する。
 - 児童、生徒が学ぶ必要性を感じ、課題意識を持って取り組む授業の工夫
 - 意図的、計画的な言語活動の充実、コミュニケーション能力向上による表現力の育成
 - ③ 児童、生徒に自己マネジメント力を身に付けさせ、基礎学力の確実な定着を図る。
 - まとめの時間の確保と振り返り活動の充実
 - 各学年、各教科間の連携、家庭や小中学校との連携を図りながら学習習慣の確立を目指した指導
- ※ 「授業スタンダード」「家庭学習スタンダード」の活用
※ 「活用力育成シート」「定着確認シート」等の活用

豊かな心

自ら課題を解決し満足感や達成感を感じる活動を工夫し、人間性豊かな心を育む。

【努力・実践事項】

- ① 児童、生徒主体の活動を充実させ、主体性を育み、達成感や達成感を味わわせる。
 - 何事にも目標を持ち、より良い学校生活を送ろうとする態度の育成
 - 自ら課題を見つけ、自ら解決をめざす活動の工夫
 - ② 豊かな体験活動やボランティア活動を積極的に取り入れ豊かな心を育てる。
 - 体験活動・職場体験やボランティア活動、地域社会との交流などの積極的な取組(学校行事等と関連させて)
 - 読書活動の充実による幅広いもの見方や考え方の育成
 - ③ 「特別の教科 道徳」の時間を充実させ、「思いやり、感謝」「向上心、個性の伸長」などの道徳性を高める。
 - 多面的、多角的に考え、議論させる授業実践(他校との遠隔合同授業)
 - 道徳の時間と他領域の諸活動との関連を図る計画的な指導(学んだことを学校生活、行事等で生かす)
- ※ 「ふくしま道徳教育資料集」、「私たちの道徳」等の活用

健やかな体

自ら運動に親しむ態度と健康で安全な生活を送る習慣を身に付けさせ、健やかな心と体を育む。

【努力・実践事項】

- ① 学校の教育活動全体を通して、運動に親しむ態度と体力の上を図る。(町独自のEIP9プロジェクト等の活用)
 - 体力・運動能力の実態把握と課題の分析及び共通理解による指導の充実
 - 児童・生徒自身に課題を意識し目標を持たせ、その達成に向け挑戦させる指導の充実
 - ② 健康や安全に関心を持たせ、自ら生活習慣を改善しようとする意欲を高める。
 - 一人一人の生活習慣の把握と課題の分析及び家庭との連携
 - 各教科と関連させた保健指導や食育の充実と実効性のある防災教育や放射線教育などの推進
 - ③ 家庭や専門家と連携し児童・生徒の心のケアを充実させる。
 - 児童・生徒理解を深めるための教育相談の充実と情報の共有化
 - SCやSSW、外部の専門機関などの日常的な活用
- ※ 「運動身体づくりプログラム」、「防災教育指導資料」、「放射線等に関する指導資料」、「自分手帳」等の活用

保護者や地域及び関係機関との連携

- 授業参観や保護者懇談会、ふくしま教育週間の実施
- 学校だけでなく、保健だけでなく、HPなどによる情報発信
- 小中学校連携の強化
- ボランティア活動の実施

学校運営(日常の充実した教育活動の推進)

施設・設備の充実

- 校舎及び体育館の施設・設備の整備
- 図書、情報機器利用の促進
- 定期的な安全点検と関係機関との連携

教員の資質向上

- 研修の推進(道徳の教科化、特別支援教育への理解、外部講師の活用等)
- ICT活用の推進・学び合い、協力し合う教師集団 明るく風通しのよい職場づくり
- 働き方改革・同僚性のチームとして・不祥事の絶無